

事業計画書

事業名	「原・歴史と文化のまちづくり」
実施場所	沼津市原地区
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2020年 4月 1日 ~ 2022年 3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

・まち歩きマップ活用作成事業

住民代表者・地域の有識者等の参画により原地区に点在する地域資源を面的に捉え、回遊性を持たせるために、平成13年作成の「原・浮島史跡マップ」を見直し再活用して東海道・原宿の史跡等についてより訴求力のある内容とすべく、新設を含めた磨き上げを行う。そして魅力ある地域資源の掘り起こし・洗い出し作業を行いつつ「(仮称)原のまち(原宿)歩きたくなるマップ」の作成と拡大案内板の設置を行う。

・まち歩きイベント・講演会開催事業

作成した「まち歩きマップ」を活用し仮称「原まち探検隊」(小学生の部・大人の部)の2回開催、「歴史講演会」等を開催して交流の場を通じた地域振興を進める。また、地域外部にもホームページはもとよりマスコミにも発信して観光誘客に取り組み地域活性化を図る。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

東名や新東名へのアクセスの向上をはじめとした都市基盤整備が進められ、地域の発展に向けた高いポテンシャルを備える原地区において、地区に存する貴重な歴史・文化・自然を十分に活かしてまちづくりやにぎわいづくりを進めることが、地域振興を図るうえで課題となっている。また、地域コミュニティに目を向ければ、その希薄化や担い手不足などといった問題も生じている。

そこで、昨年4月に沼津市により整備開園された国登録記念物「帯笑園」、「白隠のみち整備事業」、「原駅前ひろば整備」等の新たなハード部門の整備が契機となりこれを地区コミュニティ推進委員会を中心とした住民参画のもとで「まち歩きマップの作成」や地域資源の新たな磨き上げを行い、マップの拡大版を作成して設置する。そして、マップを活用した「まち歩きイベント」「歴史講演会」の開催により地域振興活動を実践し、一連の事業展開を通じて住民の地域への興味と関心、誇りと愛着を醸成するとともに、交流の場づくりやホームページ等を外部に発信して観光誘客に取り組み、地域の主要各所(原駅・寺社・沼津市商工会・原地区センター等)にマップを配置してイベント開催時以外に原地区を訪れる多くの方々に配布して、地域振興と地域コミュニティの活性化を同時に図る。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
令2年5月12日	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>原地区コミュニティ推進委員会企画委員会 「はら・歴史と文化のまちづくり」打ち合わせ ・「まち歩きイベント」「歴史講演会」「まち歩きマップ」「案内板」</p>
5月23日	<p>仮称「まち歩きマップ」作成委員会 ・「原・浮島史跡マップ」見直し再活用と史跡の確認 ※7月中の完成をめざす。</p>
6月9日	<p>原地区コミュニティ推進委員会企画委員会 仮称「こども原ふるさと探検隊」実行委員会 ・実施要綱、役割分担等打ち合わせ</p>
6月16日	<p>仮称「こども原ふるさと探検隊」実行委員会 ・参加募集要項・資料等打ち合わせ</p>
7月14日	<p>仮称「こども原ふるさと探検隊」実行委員会 ・最終確認打ち合わせ(参加募集文書回覧等)</p>
8月18日	<p>原地区コミュニティ推進委員会企画委員会 ・「歴史講演会」実施要綱、役割分担等最終打ち合わせ</p>
8月23日	<p>◆仮称「こども原ふるさと探検隊」(小学生・保護者対象) ※別紙参照</p>
9月8日	<p>「歴史講演会」実行委員会 ・参加者募集、資料等打ち合わせ</p>
10月18日	<p>◆仮称「わがまち原宿講演会」原地区センター会議室 ※別紙参照 ◆同日開催：仮称「原ふるさと探検隊」(中学生以上対象) ※別紙参照</p>
11月8日	<p>原地区コミュニティ文化祭にて実施状況の展示報告(写真等の展示)</p>

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

- ・「原・浮島史跡マップ」を見直して新たなマップの作製により、豊かな自然や貴重な歴史・文化など、地域資源の掘り起こしと磨き上げが進み、原地区の魅力が高まる。
- ・仮称「まち歩きマップ」を活用することにより、外部への観光資源の紹介や誘客等につながる。
- ・「まち歩きイベント」等の開催を通じて地域内交流・対外交流の場を創出し、地域振興に寄与することができる。
- ・住民主体で一連の事業を展開することで、地域住民が地域への興味・関心と誇り・愛着を持つきっかけをつくり、地域コミュニティの活性化や住民主体でのまちづくりの進展が図られる。

<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆住民有識者ワークショップの開催 【予定参加者10人×2回】 「まち歩きマップ」の作成に当たり平成14年作製の「原・浮島史跡マップ」の資料内容の見直しを図り、史跡の掘り起こしと共に今風の「歩きたくなる見学ルート」の構成も検討する。 ◆まち歩きマップの作成 【リーフレット5,000枚】 ワークショップの新資料の内容によりマップの作成。 ◆案内板張替え2箇所 【マップ拡大版1200×600】 ◆まち歩きイベントの開催 【予定参加者30人×2回】 ◆歴史講演会 【原地区センター会議室：80名】 	<p>指標の 検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ参加予定者 地域歴史研究団体代表 ボランティアガイドの会代表 寺院・神社代表 商工会代表 地区自治会連合会代表 地区コミュニティ代表 生涯学習関係（PTA） 地区社会福祉協議会代表 計13名 ・「まち歩きマップ」リーフレット 原駅、商工会、寺社7か所、帯笑園 地区センター、他 計10か所×500 ・案内板（既設2箇所張替え） 原浅間神社前、地区センター前を予定 ・まち歩きイベント 8月開催（小学生を対象）30名 10月開催（中学生以上）30名 原地区コミュニティ機関紙「ふるさと」 沼津広報を利用して募集する。 ・講師を選定して、原地区コミュニティ機関紙「ふるさと」、沼津広報を利用して内外に聴講者を募集する。
-------------	--	---------------------	--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 一連の事業により、原地区を含めた市西部地域のにぎわいづくりに寄与することができる。また、行政主体ではなく住民主体で取り組むことで地域住民に認識を深めてもらい、まちづくりへの市民参画が進むものと期待できることから、まちづくりファンドの助成は意義深いものとする。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 ここ数年、行政により「風情と心地よさを感じられるまちなみづくり」をコンセプトとしながら「白隠のみち」や「帯笑園」「原駅前広場」などのハード整備が進められているが、点在するこれらの地域資源を面的に捉えた案内標示やソフト施策が不足しているため、関係機関と連携しながら住民主体で地域の魅力向上、情報発信に取り組みたい。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 まちあるきマップの作成や地域資源の顕在化を進めるにあたっては、地域の有識者や関係各方面で活躍されている方々に見直し検討をお願いして、多くの地域住民を巻き込むための仕組みを取り入れる。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについてどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。 「まち歩きイベント」については市内外の様々な地域で行われているが、沼津市西部地区においては、新たな魅力として「ららぽーと沼津」の開店や「道の駅整備検討事業」など、自然・歴史と融合して歴史や文化の豊かな原地区において、まちおこしツールのひとつとして発展的に継続できる可能性の高い事業と考える。また、沼津市商工会等との連携による活動資金の確保にも努めていきたい。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 予算やスケジュール等については当委員会において既に調整済。地区内に設置する「まち歩きマップ」の（拡大案内板）については設置予定箇所の管理者に協議済である。本事業はソフト施策が中心であり、新たな事業展開をする場合においてはコストのかからない手法とする。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 「活力ある地域」の事例に共通して言えるのは住民主体でまちづくりが進められていることである。地域住民自らの手で地域の魅力向上に取り組むプロセスこそが住民の地域愛を醸成し、地域振興のみならず地域コミュニティの活性化にもつながるものと考えており、本事業を通じて「行きたい、住みたいと思うまち」「発展と絆のあるまち」として、地域の活力向上と沼津市のまちづくりに貢献していきたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

「まち歩きマップ」については、事業の展開により開催回数の増加、及び参加人員の増員が見込まれる。「歴史と史跡」に絞ったイベント、「自然に触れ合う機会づくり」のイベントも展開が予想される。その際の簡易な「植物資料」などの作製、新時代に適応した「観光アプリ」の製作、歴史と自然が融合した「ガイドマップ」の作製にも取り組みたい。

※「女鹿塚バードウォッチングとつばめのねぐら入り」7月～8月

※「浮島沼ビオトープと野生希少植物の観察会」9月

※「原宿と白隠さん講演会」11月

※「白隠の里・散策QRコード」発信

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。